

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 23 年 2 月 3 日 (2011.2.3)

【公表番号】特表 2008-518199 (P2008-518199A)
 【公表日】平成 20 年 5 月 29 日 (2008.5.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-021
 【出願番号】特願 2007-537234 (P2007-537234)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 21/64 (2006.01)

G 0 1 N 21/76 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/64 F

G 0 1 N 21/64 C

G 0 1 N 21/64 B

G 0 1 N 21/76

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 22 年 12 月 13 日 (2010.12.13)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

液体試料中の分析対象物質をルミネセンスによって検出するためのシステムであって、分析対象物質と接触すると、第一のルミネセンスシグナルを発生することができる、分析対象物質に特異的な物質と、
 液体試料と接触することによって実質的に消される、第二のルミネセンスシグナルを発生することができる比較参照物質とを含む担体を具備するシステムであって、
該分析対象物質に特異的な物質のルミネセンスシグナルおよび該比較参照物質のルミネセンスシグナルを測定するためにただ一つの検出器が使用されるシステム。

【請求項 2】

さらに、試料の量、分析対象物質の量、および / または担体の準備状態を確認する評価ユニットを具備する請求項 1 記載のシステム。

【請求項 3】

分析対象物質に特異的な物質および比較参照物質が、蛍光物質である請求項 1 または 2 記載のシステム。

【請求項 4】

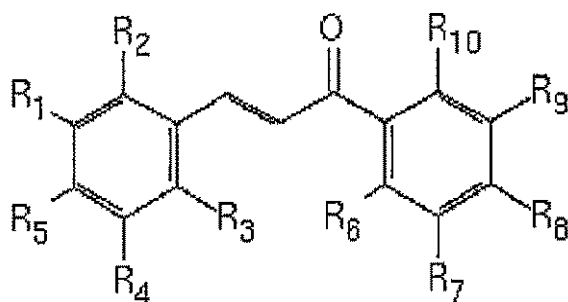
水と接触するとルミネセンスが実質的に消される物質の中から、比較参照物質が選択される請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 5】

比較参照物質が、
 式 I :

【化 1】

(I)



(式中、 R_2 、 R_3 、および R_5 の一つは $NR_{11}R_{12}$ および SO_3Na の中から選択され；
 R_1 、 R_4 、 R_6 、 R_7 、 R_8 、 R_9 および R_{10} は水素またはハロゲンであり；
 R_{11} および R_{12} は、水素または $C_1 - C_4$ アルキルであり、 $C_1 - C_4$ アルキルは $-OH$ 、 $-SH$ 、ホスファート、 $-COOH$ 、 $-NH_2$ 、 $-SO_3Na$ 、 $-NO_2$ 、ハロゲンで置換が可能である)

で表される化合物である請求項4記載のシステム。

【請求項6】

金属イオンと接触するとルミネセンスが実質的に消される物質の中から、比較参照物質が選択される請求項1～3のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項7】

比較参照物質がFuraREDである請求項6記載のシステム。

【請求項8】

pHが変化するとルミネセンスが実質的に消される物質の中から、比較参照物質が選択される請求項1～3のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項9】

比較参照物質が、LysoSensor Blue DND-167か、またはその誘導体である請求項8記載のシステム。

【請求項10】

ルミネセンスがpHに依存する物質から、分析対象物質に特異的な物質が選択される請求項1～3のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項11】

分析対象物質に特異的な物質が、LysoSensor Blue DND-167か、またはその誘導体である請求項10記載のシステム。

【請求項12】

分析対象物質に特異的な物質および比較参照物質が、実質的に同じ波長領域で励起され、発光する請求項1～11のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項13】

液体と接触すると実質的に消されるルミネセンスシグナルを発生することができる物質を、比較参照物質として、分析対象物質を検出する方法に使用する用途であって、該方法が該分析対象物質に特異的な物質のルミネセンスシグナルおよび該比較参照物質のルミネセンスシグナルを測定するためにただ一つの検出器が使用される方法である用途。

【請求項14】

液体と接触すると実質的に消されるルミネセンスシグナルを発生することができる物質を、試料量を決定するための比較参照物質として使用する用途であって、分析対象物質に特異的な物質のルミネセンスシグナルおよび該比較参照物質のルミネセンスシグナルを測定するためにただ一つの検出器が使用される方法に使用する用途。

【請求項15】

液体と接触すると実質的に消されるルミネセンスシグナルを発生することができる物質を

、分析対象物質を検出するためのシステムが機能する準備ができているかを確認するための比較参照物質として使用する用途であって、該システムが該分析対象物質に特異的な物質のルミネセンスシグナルおよび該比較参照物質のルミネセンスシグナルを測定するためにただ一つの検出器が使用されるシステムである用途。

【請求項 16】

ルミネセンスによって液体試料中の分析対象物質を検出する方法であって、

(i) 分析対象物質と接触して第一のルミネセンスを発生することができる分析対象物質に特異的な物質を含み、そして液体試料と接触することによって、実質的に消される第二のルミネセンスシグナルを発生することができる比較参照物質を含む担体を準備することと、

(ii) 担体を、検出すべき分析対象物質を含む液体試料と接触させることと、

(iii) ルミネセンス信号を測定し、そしてルミネセンス信号を比較することによって、分析対象物質を検出することを含み、

該分析対象物質に特異的な物質のルミネセンスシグナルおよび該比較参照物質のルミネセンスシグナルを測定するためにただ一つの検出器が使用される方法。

【請求項 17】

担体が液体試料と接触する前に比較参照物質のルミネセンスシグナルを測定する請求項 16 記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0055

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0055】

この方法においても、すでに説明したように、実質的に同じ波長領域で励起され、発光する、参照物質および分析対象物質に特異的な物質を使用することが好ましい。好ましくは、まず試料不在下で比較参照物質のルミネセンスシグナルを測定して、それから液体試料をつけて、試料が引き起こすルミネセンス信号を測定する。これは、好ましくはただ一つの検出器を使って行うことができる。しかし、特に、参照物質の波長領域と分析対象物質に特異的な物質の波長領域とが異なる場合は、複数個の検出器を使用することもできる。